

## 能力=努力

校長・矢野 尊久

今月の12日に日本で2人目となる9秒台を記録したサニブラウン選手は本当に才能だけで9秒代を出したのか？その答えはNOです。彼はオリンピックの代表選考での太ももの肉離れなど何度もけがを自分の努力で乗り越えてこの記録を出しています。彼はけがしてからは才能に任せて走っていたその頃の自分と決別して、多く人の話に耳を傾け、できることからリハビリを重ねて体の軸の使い方、バランス良く鍛えるなどして走り方を変えていったそうです。走れない時間の屈辱や焦りに耐えて辛抱強く努力した結果だと思えます。

「自分には能力はない」「あの人は特別な才能のある人だ」「自分は無能な人間だ」など能力不足で嘆いている人はいないでしょうか。自分よりよく出来る人を見ると誰しもそう思うことがあります。能力のある人を見ると特別な存在に見えたり、雲の上の人に思えたりするかもしれません。またそんな人のことを妬ましく思ったり嫉妬したりすることもあります。しかし、能力は何もしないで身に付くものではありません。高い能力を最初からもつ人は一人もいません。高い能力はその人の努力の結果なのです。豊富な知識を身に付けている人はしっかり勉強したからです。もちろん、もって生まれた才能や適正もあります。しかし、あったとしてもそれは最初のうちだけです。何もしないで能力が身に付くはずはありません。高い技術や知識を身に付けている人は厳しいトレーニングや学習を積み重ねてきたからです。見えないところでしっかりと努力しているのです。つまり高い能力は血と汗の結晶なのです。

自分のもっている力と努力の関係はかけ算だと思えます。例えば自分のもっている力を5段階中の2とします。努力を5段階中の4とすれば $2 \times 4$ で8です。もっている力が最高の5でもたいした努力しない1であれば、かけ算の結果は $5 \times 1$ で5です。どちらがよい結果なのかは自明のことです。

能力は鍛えてこそ身に付くもの、最初からあるのはほんの僅かです。能力不足を嘆く暇があったら、自分から能力を鍛えるアクションを起こすことが大切だと思えます。

ある語学のテキストにこんなことが書いてありました。

- 1 一日2時間練習、どんなに忙しくても最低1時間
- 2 習ったことを必ず振り返る
- 3 人しれずする
- 4 泣き言をいわない
- 5 仕事を言い訳にしない

「才能がない」という弱音は、できる努力を尽くしてから言う台詞です。まだ努力をしていないなら努力をしてみる。努力はやる気さえあれば誰にでも

できること、自分を鍛える気持ちが大切です。自分のことを知っているのは自分自身ですから、その自分をどう動かすかはあなたの気持ち次第です。

努力はかけ算、能力=努力だと思ってチャレンジする明保中生であってほしいと願っています。



明保中学校ではホームページを毎日更新しています。

子どもたちの日頃の様子がよくわかりますのでぜひご覧ください。

- ・スクールライフ/学校生活・平成31年度・令和元年度には、最近の運動会練習の様子や日常の子どもたちの様子が掲載されています。
- ・昨年度までの大きな行事は「昨年度までのピックアップ」に掲載してありますので、これから実施される各行事を写真と説明でイメージできます。
- ・「西東京市子ども条例」などバナーから簡単に内容を確認できます。
- ・41年の明保中学校の歴史についても貴重な写真入りで紹介しています。→昨年までのピックアップ/明保中学校のあゆみ

◇5月、6月の主な予定◇ 予定の変更は担任等から連絡いたします。

月	日	曜	内 容	月	日	曜	内 容
5 月	17	金	①②3年生練習 ⑥全校練習	5 月	28	火	内科検診1年生
	20	月	生徒会朝礼 弁当持参 運動会係会		29	水	英検講座(希望者)
	21	火	①②1年生学年練習 ③④2年生学年 練習 ⑤全校練習		30	木	運動会予備日 弁当持参
	22	水	運動会予行 弁当持参 英検講座(希望者)		31	金	歯科検診(3年、2年AB) 英語検定(希望者 放課後)
	23	木	運動会予行予備日	6 月	3	月	全校朝礼
	24	金	⑤運動会全体練習 ⑥運動会前日準 備		4	火	内科検診2年生
	25	土	運動会 弁当持参		5	水	歯科検診1年、2年CD ⑤進路説明会
	27	月	振替休日		6	木	内科検診3年生

## 西東京市子ども条例について

今と未来を生きる全ての子どもがすこやかに育つ環境を整えるために「西東京子ども条例」が昨年10月に制定されました。条例の詳しい内容は本校ホームページか西東京市教育委員会のホームページをご覧ください。

### ◇条例に添った明保中学校の取組◇

#### 1 ふれあい面談の実施

生徒一人ひとりと担任の先生や希望する先生との面談を行っています。1学期は6月10日から17日まで主に6時間目を使って行われます。生徒一人ひとりと話をして何気ない話などから生徒たちとの絆をつくります。2学期、3学期にも設定しています。また、実施にあたっては事前にアンケートをしています。この取組の昨年度の生徒の満足度は98%から99%でした。

#### 2 虐待防止委員会・いじめ防止委員会の実施

毎週水曜日に定期的に校内で虐待やいじめはないか教員間で確認し、必要な対策を話し合い、対応しています。

#### 3 虐待外部委員会の実施

每学期1回、地域の主任児童委員、民生委員の方、子ども家庭支援センター(のどか)とスクールアドバイザー等と学校が情報交換を行い、役割を確認しています。

#### 4 スクールカウンセラーによる1年生対象の面談

本校に毎週1回勤務しているスクールカウンセラーと1年生の生徒全員が面談をしています。また、スクールカウンセラーは、相談を希望する生徒や保護者とも個別に面談を行っています。

#### 5 教育支援委員会(特別支援委員会)の実施

毎週学年ごと教員で構成される教員で話し合い生活や学習に「困り感」をもつ生徒の対策を考えています。

#### 6 主任指導委員等による放課後自習教室の実施

主任指導委員等が定期考査の1週間前から考査直前までに図書室を使って放課後の生徒の居場所づくりをすすめています。これは考査前で部活動が実施されなくなるタイミングに合わせて行う取組で、いつも30人前後の生徒たちが自習教室を利用しています。

#### 7 関係諸機関との連携

子ども家庭支援センター(のどか)、市教育相談、市教育委員会、スクールアドバイザー、小平児童相談所、田無警察等と随時に連携をすすめています。そして必要に応じて会議を実施しています。

#### 8 その他

本校で行った東京都教育委員会人権尊重教育推進校の取組を生かして毎年生徒が「人権宣言」を行ったり、弁護士によるいじめ防止講演会を行ったり等様々な取組をすすめています。